# Express5800/R120h-1M, R120h-2M, R120h-1E, R120h-2E, T120h

# インストレーションガイド (Windows 編) 補足

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

EXPRESSBUILDER E8.10-004.01 (3.20.154)を使用するとき、本製品の「インストレーションガイド(Windows 編)」に 対し次のような補足があります。本文との変更点を赤線で示しているため、使用時に読み替えてください。 本書は必要なときにすぐに参照できるよう大切に保管してください。

# • N8104-176/186 の LAN ドライバーインストールについて

N8104-176/186 使用時、以下を参照して LAN ドライバーをインストールしてください。

対象LANボード	N8104-176/186 (T120hはN8104-186のみ対象)	
インストール方法	プリインストール	
追加·変更箇所	インストレーションガイド(Windows編)	
	□ Windows Server 2016 : 「3.6.1 LANドライバーのインストール」	
	□ Windows Server 2012 R2 : 「4.6.1 LANドライバーのインストール」	
【 変更 】		

旧	ただし、N8104-176/186 をご使用の場合、LAN ドライバーをインストールするには「Standard Program
	Package」の再適用が必要です。
	プリインストールモデルの場合は購入後「Standard Program Package」を再適用することで
	N8104-176/186のLAN ドライバーがインストールされます。
新	プリインストールモデルの場合は、購入時にN8104-176/186のLANドライバーがインストール済みです。

対象LANボード	N8104-176/186 (T120hはN8104-186のみ対象)
インストール方法	EXPRESSBUILDER を使って「Assisted オプションでインストール」するとき EXPRESSBUILDER を使って「Manual オプションでインストール」するとき
追加·変更箇所	インストレーションガイド(Windows編) <ul> <li>Windows Server 2016 : 「3.6.1 LANドライバーのインストール」</li> <li>Windows Server 2012 R2 : 「4.6.1 LANドライバーのインストール」</li> </ul>

### 【変更】

IВ	Assisted オプションもしくはManual オプションでインストールした場合は「Standard Program Package」を2 回適用することでN8104-176/186 のLAN ドライバーがインストールされます。
新	Assisted オプションまたはManual オプションでインストールした場合は「Standard Program Package」を適用 することで N8104-176/186 のLAN ドライバーがインストールされます。

## ● EXPRESSBUILDER の画面について

次のように、EXPRESSBUILDER の表示画面等が変更になっています。該当する箇所を読み替えてインストールを進めてください。

インストール方法	EXPRESSBUILDER を使って「Assisted オプションでインストール」するとき		
追加·変更箇所	ー インストレーションガイド(Windows編)「Assisted オプションでインストール」		
	□ Windows Server 2016 :「3.3.3 インストールの手順」手順 4		
	□ Windows Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順」手順 4		

### 【追加・変更】 ※ 追加・変更箇所は 下線 部分です。

- 4. [インストール方法]で [**自動インストール**] を選択します。
  - 必要に応じて以下の項目を設定し、画面右下の[>]をクリックします。



[ソースのインストール] に [DVD-ROM メディア] または [ファイルは USB ドライブにあります] を選択し た場合は、メディアをセットしてから、画面右下の[>]をクリックしてください。

変更

	press5800/R120h-2M 🚱 🏦 🏋 🖞	1
オペ このサー	<b>マーティングシステムのインストール</b> ーバーに新しいオペレーティングシステムをインストールしています	
	RAIDの構成 推奨された設定 マ コントローラー・ PCI 5C-00 - HPE Smart Array E208I-a SR Gen10 マ ディスク・	変更
	LUN 1 - 899G ▼ ソースのインストール・ DVD-ROMメディア ▼ ファームウェアアップデートの試行 更新のスキップ ▼	
<	インストール方法: 自動インストール ▼	↓ ↓

● RAID の構成

RAID コントローラーを使用するときは、SSA またはシステムユーティリティによって設定した後 [現在の設定の維持]を選択します。

- コントローラー
   OS インストール先のコントローラーを選択します。
- ディスク
   OS インストール先のディスクを選択します。

• ソースのインストール

OS をインストールするソースメディアのタイプを選択します。

メディアタイプには、次のものがあります。

DVD-ROM メディア	OSインストールメディア(DVD-ROM)	<b>↑</b>
ファイルはUSBドライブにあ ります	OSインストールファイルが存在する USB フラッシュドライブ	
SMB/CIFS (Windows共有)	OSインストールファイルが存在するネットワーク共有	変更
匿名FTPサーバー	Windows OS のインストールではサポートしていません。	↓ ↓
<u>インターネットから</u> ClearOSをインストール	Windows OS のインストールではサポートしていません。	追加

各メディアタイプがサポートする OS インストールファイルのフォーマット(※) は、次のとおりです。

ネットワーク共有	フラット、ISO
USB	フラット、ISO

※ フラット : 標準のフォルダー構成

ISO : ISO または UDF ファイル

- ファームウェアアップデートの試行
   [更新のスキップ]を選択します。
- インストール方法

[**自動インストール**]を選択します。

**変**更

<ul> <li>か・変更箇所</li> <li>ハンストレーションガイド(Windows編)「Assisted オプションでインストール」         <ul> <li>Windows Server 2016 : 「3.3.3 インストールの手順」手順 6</li> <li>Windows Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順」手順 6</li> </ul> </li> <li><b>追加・変更内容</b>】 *: 追加・変更箇所は <u>下線</u> 部分です。</li> <li>次の画面では、インストールする OS の設定をします。</li> <li>さらに、タイムゾーンは「(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京」を選択します。</li> <li><b>NEC</b> Express5800/R120h-2M</li></ul>	部・変更箇所 ハンストレーションガイド(Windows編)「Assisted オブションでインストール」 Windows Server 2016 : 「3.3.3 インストールの手順」手順 6 Windows Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順」手順 6 Windows Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順」手順 6 こ Windows Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順」手順 6 いたの面面では、インストールの手順 「Maintows Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順」手順 6 Windows Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順」手順 5 Windows Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順」手順 6 Windows Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順」手順 6 Windows Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順 5 Windows Server 2015 Server 2015 Server 2015 Server 2015 R2 + Kethen 1 Windows Server 2015 Serve					
<ul> <li>□ Windows Server 2016 : 「3.3.3 インストールの手順」手順 6</li> <li>□ Windows Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順」手順 6</li> <li>□ Windows Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順」手順 6</li> <li>□ Windows Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順」手順 6</li> <li>□ Windows Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順」手順 6</li> <li>□ Operating Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順」手順 6</li> <li>□ Operating Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順」手順 6</li> <li>□ Operating Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順」手順 6</li> <li>□ Operating Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順」手順 6</li> <li>□ Operating Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順」手順 6</li> <li>□ Operating Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順」手順 6</li> <li>□ Operating Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順」手順 6</li> <li>□ Operating Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順」手順 6</li> <li>□ Operating Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順」手順 6</li> <li>□ Operating Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順」手順 6</li> <li>□ Operating Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順」手順 6</li> <li>□ Operating Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順」手順 6</li> <li>□ Operating Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順」手順 6</li> <li>□ Operating Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順」手順 6</li> <li>□ Operating Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順」手順 6</li> <li>□ Operating Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順」手順 6</li> <li>□ Operating Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順」手順 6</li> <li>□ Operating Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順」手順 6</li> <li>□ Operating Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順 5</li> <li>○ Operating Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順 5</li> <li>○ Operating Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順 5</li> <li>○ Operating Server 2012 R2 : 「4.3.3 インストールの手順 5</li> <li>○ Operating Server 2015 Results Raine R</li></ul>	Windows Server 2016 : [3.3.3 t/2kh-µlo@fi@lf@ 6 Windows Server 2012 R2 : [4.3.3 t/2kh-µlo@fi@lf@ 6 Calve Server 2012 R2 : [4.3.3 t/2kh-µlo@fi@lf@f@ 6 Calve Server 2012 R2 : [4.3.3 t/2kh-µlo@fi@lf@f@ 6 Calve Server 2012 R2 : [4.3.3 t/2kh-µlo@f@lf@f@ 6 Calve Server 2012 R2 : [4.3.3 t/2kh-µlo@f@lf@f@ 6 Calve Server 2012 R2 : [4.3.3 t/2kh-µlo@f@lf@f@ 6 Calve Server 2013 R2 : [4.3.3 t/2kh-µlo@ff@lf@f@ 6 Calve Server 2013 R2 : [4.3.3 t/2kh µlo@ff@lf@f@ 6 Calve Server 2013 R2 : [4.3.3 t/2kh µlo@ff@lf@f@ 6 Calve Server 2013 R2 : [4.3.3 t/2kh µlo@ff@lf@f@f@f@f@f@f@f@f@f@f@f@f@f@f@f@f	·変更箇所	インストレーションカ	ブイド(Windows編)「Assisted オプショ	ンでインストール」	
□ Windows Server 2012 R2 : [4.3.3 インストールの手順J手順 6 <b>倉加・変更内容</b> 】 ** 追加・変更箇所は <u>下線</u> 部分です。 次の画面では、インストールする OS の設定をします。 さらに、タイムゾーンは「 <u>(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京</u> 」を選択します。	○ Windows Server 2012 R2 : f4.3.3		🗆 Window	vs Server 2016 : 「3.3.3 インスト	~-ルの手順」手順 6	5
<b>自加・変更内容</b> 】 ※ 追加・変更箇所は <u>下線</u> 部分です。 次の画面では、インストールする OS の設定をします。 さらに、タイムゾーンは「 <u>(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京</u> 」を選択します。 NEC Express5800/R120h-2M	自加・変更内容】 ※ 追加・変更箇所は 下線 部分です。 次の画面では、インストールする OS の設定をします。 さらに、タイムゾーンは「(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京」を選択します。 NEC Express5800/R120h-2M		🗆 Window	vs Server 2012 R2 :「4.3.3 インス」	トールの手順」手順(	5
オプション - 大文字と小文字を混在させ、数字と句読点を含める。8文… パスワードの確認		M・変更内容 】 ※ 次の画面では、イン さらに、タイムゾーン NEC ose濃R Microsoft Windows Server 201 os言語 日本語	<ul> <li>追加・変更箇所は 下線 部の</li> <li>ストールする OS の設定をし</li> <li>は「(GMT+09:00) 大阪</li> <li>Express5800/R120h-2M</li> <li>6 Standard x04 Edition</li> <li>OSキーボード</li> <li>・ 日本語</li> </ul>	分です。 ます。 <u>れ. 札幌、東京</u> 」を選択します。 <i>Q 谷</i> 日 <i>9イムゾーン</i> * (GMT+0900)大阪、札幌、東京 所有者名	? i ()	<b>k</b>
<ul> <li>● <u>ここでの「コンピューター名」は、15 文字以内で指定してください。</u></li> <li>16 文字以上指定した場合は、OS インストール中に下記のようなエラー画面が表示されインストールが停止しま</li> </ul>		コンピューター名 srv008110038 オブション - 大文字と小 ・ HyperVロールをこの ・ Windowsファイアウ: く ここでの「コンピュー 16 文字以上指成		0/32 ・ e文_ パスワードの確認 0/32 で指定してください。 -ル中に下記のようなエラー画面が表示さ	0/32 シ されインストールが停	変 、 <u>止しま</u>
<ul> <li> <u>ここでの「コンピューター名」は、15 文字以内で指定してください。</u> <u>16 文字以上指定した場合は、OS インストール中に下記のようなエラー画面が表示されインストールが停止しま</u> Windows ゼットアップ バス [specialize] の無人応答ファイル [C#Windows#Panther#unattend.xml] を解析 または処理できませんでした。応答ファイルは無効です。 OK         </li> </ul>	Windows セットアップ            ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	コンピューター名 srv008110038 オブション - 大文字と小 ・ HyperVロールをこの ・ Windowsファイアウ: く ここでの「コンピュー 16 文字以上指定 Windows セットアップ ・ パス [specia また」は処理で	<ul> <li>27.72</li> <li>マアを混在させ、数字と句読点を含める。</li> <li>システムにインストール</li> <li>オールの有効化</li> </ul>	0/32 • 8文 パスワードの確認 0/32 • 7 • 7 • 7 • 7 • 7 • 7 • 7 • 7	0/32 <u> や/32</u>	変 <u>:止しま</u>
<ul> <li><u>ここでの「コンピューター名」は、15 文字以内で指定してください。</u></li> <li><u>16 文字以上指定した場合は、OS インストール中に下記のようなエラー画面が表示されインストールが停止しま</u></li> <li>Windows ゼットアップ         <ul> <li>(ス [specialize] の無人応答ファイル [C*Windows*Panther¥unattend xml] を解析 または処理できませんでした。応答ファイルは無効です。</li> <li>OK</li> </ul> </li> <li><u>必要に応じて Windows OS の機能を有効化できます。</u></li> </ul>	Windows ゼットアップ         ジ         パス [specialize] の無人応答ファイル [C¥Windows¥Panther¥unattend xmi] を解析 または処理できませんでした。応答ファイルは無効です。         OK         ●         必要に応じて Windows OS の機能を有効化できます。	コンピューター名 srv008110038 オブション - 大文字と小 ● HyperVロールをこの ● Windowsファイアウ:	12/32       ロ/32       文字を混在させ、数字と句読点を含める。       システムにインストール       オールの有効化         -クー名」は、15 文字以内   Eした場合は、OS インストーー          ize] の無人応答ファイル [C:¥Windows¥]   ize」の無人応答ファイルは悪効する       ize」の無人応答ファイルは悪効する	0/12 ・ e文_ パスワードの確認 0/32 で指定してください。 -ル中に下記のようなエラー画面が表示だ Panther¥unattend xml] を解析 です。 して 化できます。	0/32 トールが停	変 <u>· 止しま</u>
<ul> <li> <u>ここでの「コンピューター名」は、15 文字以内で指定してください。</u> <u>16 文字以上指定した場合は、OS インストール中に下記のようなエラー画面が表示されインストールが停止しま</u> <u>パス [specialize] の無人応答ファイル [C#Windows#Panther#unattend xml] を解析</u> <u>パス [specialize] の無人応答ファイル [C#Windows#Panther#unattend xml] を解析</u> <u>また」は処理できませんでした。応答ファイルは無効です。 <u>のK         </u> <u>必要に応じて Windows OS の機能を有効化できます。</u> <u>HyperV ロールをこのシステムにインストール         Hyper-V の機能を有効化します。         </u></u></li> </ul>	Windows ゼットアップ       こ         ジ パス [specialize] の無人応答ファイル [C*Windows*Panther#unattendxml] を解析 または処理できませんでした。応答ファイルは無効です。         のK         ・ 必要に応じて Windows OS の機能を有効化できます。         HyperV ロールをこのシステムにインストール         Hyper-V の機能を有効化します。	コンピューター名 srv00800038 オブション - 大文字と小 ● HyperVロールをこの ● Windowsファイアウ: ダ Cこでの「コンピュー 16 文字以上指定 Vindows セットアップ ジョン パス [specia また」は処理で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	12/32 文字を混在させ、数字と句読点を含める。 システムにインストール オールの有効化 -クー名」は、15 文字以内 こした場合は、OS インストー ize] の無人応答ファイル [C#Windows# きませんでした。応答ファイルは無効す -ndows OS の機能を有効	0/32 • e文_ パスワードの確認 0/32 で指定してください。 -ル中に下記のようなエラー画面が表示で ・ Panther¥unattendxml]を解析 です。 ・ 化できます。 ル Hyper-V の機能を有効	0/32 <u> や/32</u> <u> や/32</u> <u> や/32</u> <u> や/32</u> <u> や/32</u>	変 <u>ず止しま</u>

OS 運用時のトラブル」を参照してください。

# ●「Manual オプションでインストール」のご注意

「Manual オプションでインストール」でインストールするときは、必ず次の手順に従って OS をインストールしてください。

	•••
重	要

「Manual オプションでインストール」では、EXPRESSBUILDER を使わずに OS をインストール します。 EXPRESSBUILDER を使って OS をインストールすると、OS インストール先のハードディ スクドライブのすべてのデータが消去されます。 十分にご注意ください。

インストール方法	「Manual オプションでインストール」
追加·変更箇所	インストレーションガイド(Windows編)「Manualオプションでインストール」
	□ Windows Server 2016 :13.4.3 インストールの手順」
	〇 Windows Server 2012 R2 : 「4.4.3 インストールの手順」

## 【 変更 】 < Windows Server 2016>

# 3.4.3 インストールの手順

チェック

セットアップの前に、「1章(3.1セットアップ前の確認事項)」を参照してください。

- 1. ディスプレイ、本機の順に電源を ON にします。 OS インストールメディアをセットしてください。
- 2. POST 時に<F11>キーを押し、Boot Menuを起動します。 [One-Time Boot Menu]で OS インストールメディアをセットした光ディスクドライブを選択します。
- 3. OS インストールメディアから起動します。

画面上部に「Press any key to boot from CD or DVD...」が表示されます。

メディアから起動させるために、<Enter>キーを押してください。

ブートが進むと、「Loading files …」のメッセージが現れます。



Windows セットアップ画面(次の手順の画面)が表示されなかった場合は、<Enter>キーが 正しく押されていません。システムの電源を ON し直してから始めてください。

4. [次へ]をクリックします。

	Winds	Nur Sonvor 20	16	
	_winde	Jws Server 20	10	
	インストールする言語(E) 日本語(	日本)		-
	時刻と通貨の形式(D)日本語(	日本)		• •
+-7	ードまたは入力方式( <u>K</u> ) Microsof	t IME		•
	キーボードの種類(Y) 日本語キ	-ボード(106/109 キー)		-
	言語とその他の項目を入っ	カしてから じかへ] をクリックし	てください。	
0	2016 Microsoft Corporation. All rights re	served.	次へ()	0

5. [今すぐインストール]をクリックします。



次のメッセージが表示される場合 :手順6へ進んでください。

次のメッセージか表示されない場合 : 手順8^	、進んでくたさい。
-------------------------	-----------

ドライバーの読み込み	
お使いの PC に必要なメディア ドライバーがありません。メディア ドライバーの種類としては、DVD、USB、 ハードディスク ドライバーなどがあります。ドライバーの入った CD、DVD、USB フラッシュ ドライブをお持ちの 場合は、挿入してください。 注意: Windows のインストール メディアが DVD ドライブまたは USB ドライブに入っている場合は、この 手順のために取り出してかまいません。	
参照(B) OK キャンセル	

- 6. オンボード RAID コントローラー用ドライバーをコピーしたリムーバブルメディアを接続後、参照先を指定し[OK]をクリックします。 <リムーバブルメディア>: **¥sw\_raid1\_driver**
- 7. 表示されているドライバーリストから以下のドライバーを選択し、[次へ]をクリックします。

#### HPE Smart Array S100i SR Gen10 SW RAID

8. プロダクトキーの入力画面が表示されたら、プロダクトキーを入力し[次へ]をクリックします。

	100 1 2010-2012 2012 2012 2012 2012	
	プライドジーに現する声明夜り プロダラト キーボタウませんの 法へし多	
1 1460-494	2 <sup>Windows</sup> %(-,الا)-,الالا(ا≢≠	
	バックアップ DVD-ROM をご使用の場合は、本画面は表示されません。	

9. インストールするオペレーティングシステムを選択し、[次へ]をクリックします。



画面の内容は、起動した OS インストールメディアによって異なります。

₩-	画面の説明をご確認のうえ、インストールオプションを選択してください。
	ロ Windows Server 2016 Standard または、Windows Server 2016 Datacenter
	→ 本書で記載する「Server Core」に相当します。
	ロ Windows Server 2016 Standard (デスクトップ エクスペリエンス) または、
	Windows Server 2016 Datacenter (デスクトップ エクスペリエンス)
	→ 本書で記載する「デスクトップ エクスペリエンス」に相当します。

#### 10. ライセンス条項の内容を確認します。

同意する場合は[同意します]をチェックし、[次へ]をクリックします。

▲要なお知らせ(後にライビンス条項が使きます) 診断情報と使用状況情報、マイクロノフトは、の店場モインターをかも行いて目動的 に気味し、の苦寒なりパール、かガクリルード、あよびユーザージスがして目動的 になっていういうの読品は以で・よりかの改善能に設定するかか、使 用します、これらの目的に追って、情報は20番(が回路)は受けてもかか、使 用します、これらの目的に追って、情報は20番(が回路)は受けてもかか、使 力・以下的ののか、Server 2016 には、40 つが開始(状態)に関するべきのかか、使 などびか会う があり、完定では【弦楽】は20万(が用かれます、このい-バムに1、(1) マル つよびが明確していた時に関本に関するにのクリア・ラインのの実作、 (1) デパイスの品質、およびアジケーションの使用およびパフォーマンスに関する品質の感謝 、	Q	🍓 Windows セットアップ 適用される通知にライセンス条項	
F FINE (2743)		新国なお知らせ(他にうイセンス条項が続きます)	* *
			#^(¥)

1.	インストールの種	重類を選択します。
	ここでは、[カスタ	タム:Windowsのみをインストールする(詳細設定)]をクリックします。
	-	
	G	🖌 Windows Eth 757
		インストールの種類を選んでください
		<b>アップリレード: Windows &amp; インストールレ、フィイル、設定、アプルを引き線へ(U)</b> このオプルンでは、アイル、設定、アブルWindows に引き時がにまっ、ひオプルンス・ガルートされているバ ーブルンの Windows が死。やて、使用できれている場合にの時代とご思うをきまっ
		<b>カスクル、Windows のみそインストールする (FTHIRE 2)(C)</b> したまたいでは、アイト、営業、アクラン weaken に、11月1日開始です。 したまたいでは、アイト、営業、アクラン Weaken に、11月1日開始です。 したまた目的により、 ことまた目的により、
		へぶプを表示す50g
	1 <sup>1648804838</sup> 2	Windows モインストールしています

12. 「Windows のインストール場所を選んでください。」画面が表示されます。

手順 6~7 でドライバーを読み込んだ場合、または RAID コントローラーを使っていないときは、 手順 15 へ進んでください。 ここで、 [ドライバーの読み込み]を選択すると、 次の画面が表示されます。

ドライバーの読み込み
ドライブのデバイス ドライバーをインストールするには、ドライバー ファイルが含まれているインストール メディア を入れてから、[OK]をクリックしてください。 注: インストールメディアは、CD、DVD、または USB フラッシュドライブです。
参照(B) OK キャンセル

- 13. 光ディスクドライブに「Starter Pack」DVDをセット後、参照先を指定し[OK]をクリックします。
  - オンボードの RAID コントローラーの場合

Express5800/R120h-1M, R120h-2M

<*Starter Pack DVD*>:¥software¥001¥drivers¥sw\_raid1\_driver Express5800/R120h-1E, R120h-2E, T120h

<Starter Pack DVD>:¥software¥002¥drivers¥sw\_raid1\_driver

● RAID コントローラー(N8103-189/190/191/192/193/194/195/201)の場合 Express5800/R120h-1M, R120h-2M

<Starter Pack DVD>:¥software¥001¥drivers¥dac1\_driver
Express5800/R120h-1E, R120h-2E, T120h

<Starter Pack DVD>:¥software¥002¥drivers¥dac1\_driver

- 14. 表示されているドライバーリストから以下のドライバーを選択し、[次へ]をクリックします。
  - オンボードの RAID コントローラーの場合
     HPE Smart Array S100i SR Gen10 SW RAID
  - RAID コントローラー(N8103-189/192)を使う場合
     HPE Smart Array E208i-a SR Gen10
  - RAID コントローラー(N8103-190/193)を使う場合
     HPE Smart Array P408i-a SR Gen10
  - RAID コントローラー(N8103-191/194)を使う場合
     HPE Smart Array P816i-a SR Gen10
  - RAID コントローラー(N8103-195)を使う場合
     HPE Smart Array E208i-p SR Gen10
  - RAID コントローラー(N8103-201)を使う場合
     HPE Smart Array P408i-p SR Gen10
- 15. [新規]をクリックします。

名約 (一) ドライブ 0 の割り当てき	れていない細想	合計サイズ 1863 GB	空水循始 / <b>建</b> 相 1863 GB	
◆● 最新の情報に更新(B) ● ドライバーの読み込み(L)	AND	♥7#-₹%1(E)	₩ 新規(E)	
			次	A(N)



画面に[新規]が表示されていない場合は、[ドライブオプション(詳細)]をクリックしてください。

16. 入力ボックスにパーティションのサイズを入力し、[適用]をクリックします。

パーティションが作成済みの場合は、手順18へ進んでください。

[	名前		合計サイズ	空き領域 種類		
	ドライブ 0 の割り当てら	れていない領域	500.0 GB	500.0 GB		
	。最新の情報に更新(B) )ドライバーの読み込み(L)	Anterio States	₹7#-₹%KB #1X(S)=1024000	<mark>+ 新規(E)</mark> → MB 通用(P)	*vJtHQ)	
					144.00	

Windows セットアップ	×
() Windows のすべての網 知のパーティションが作	が正常に動作するように、システム ファイル時に進 「腹されることがあります。
	OK キャンセル
	新規でパーティションを作成する場合、ハードディスクの先頭に、次の3つのパーティションが作成されます。 - 回復パーティション
	ー EFI システムパーティション(ESP)
	Microsoft 子約ル。ニルコン(MCD)

17. 手順 16 で作成したパーティションを選択し、[フォーマット]をクリックします。

<b>★</b> ● 重要	以下 パー い。	の画面が表示されたら内容を確認し、[OK]をクリックします。 ティション内のデータはクリアされますので、フォーマットするパーティションには十分ご注意くださ
		Windows セットアップ このパーティションには、PC の要達元からの重要なファイルやアプリが含ま れている可能性があります。このパーティションをフォーマットすると、译 皆されているすべてのデータが失われます。
		<u>OK</u> キャンセル

18. 作成したパーティションを選択し、[次へ]をクリックします。

	ע Windows ניפאדאל 🎽 🗿		-				
	Windows のインストール場所を選んでくた	éðu.					
	名約	合計サイズ	空き領域 種類				
	ドライブ 0パーティション 1回復	450.0 MB	436.0 MB @it				
		100.0 MB	95.0 MB システム				
	> F517 0 K-71932 8	16.0 MB	16.0 MB MSR (予約演み)				
	>> F517 0 11-5-1232 4	185.8 GB	185.8 GB 75-179				
	4+ 最新の情報に更新(R) ★ 8(8)(D)	@ 7#-3%(F)	41. 新規(E)				
	● F54/パーの結果込み(L) 批派(S)	Contraction of the local distance	1787 N 1987 1975 197				
	3						
			200				
			(M)\\$				
			(U)^\$;				
			(\$\\\{\beta				
			(U^#:				
	● Weedown まくンストールしています		[ /k^\Q9				
	2 Windows まくンストールしています		<u></u>				
	2 Windows まくンストールしています		<u>(</u> ),254.00				
	Windows &f/SZI-seliCite##	±	میں جب جب جب م				
;	2 Wookwe &{/21)-#UZ(V##	表示される	パーティションの	は、ご使用の環境	覚によって異な	ります。	
		表示される	ボーライションの	は、ご使用の環境	竟によって異な	ります。	

次のメッセージが表示され、自動的に Windows のインストールが進みます。

Windows Server 2016 のインストール後、自動的に再起動します。 再起動後、引き続き Windows のセットアップを進めます。

- 19. 手順9で選択したオペレーティングシステムに応じて設定します。
  - デスクトップ エクスペリエンス

パスワードを入力	し、[完了]をクリックします。
設定のカスタ	アマイズ
このコンピューターへのサインイ	ンに使用可能なビルトイン Administrator アカウントのパスワードを入力します。
ユーザー名(U)	Administrator
バスワード(P)	
バスワードの確認入力(R)	•••••
d.	
	\$\$7(F)

<Ctrl>+<Alt>+<Delete>キーを押し、ロックを解除します。



パスワードを入力し、<Enter>キーを押します。



Windows Server 2016 が起動します。



• Server Core

パスワードを変更する必要があります。[OK]を選択し、<Enter>キーを押します。



#### Windows Server 2016 が起動します。

画 管理者: C:¥Windows¥system32¥cmd.exe

C:¥Users¥Administrator>\_



詳細については、次の Web サイトを参照してください。 「Server Core インストールの構成および管理」 http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/jj574091.aspx

- 20. 「1章 (3.5 Standard Program Package の適用)」を参照し、Standard Program Package を適用します。
- 21. 「1章 (3.6 デバイスドライバーのセットアップ)」を参照し、必要に応じてセットアップします。
- 22. 「1章 (3.7 ライセンス認証の手続き)」を参照し、ライセンス認証済みか確認します。
- 23. 「1章 (3.8 Windows Server 2016 NIC チーミング (LBFO)の設定)」を参照し、必要に応じてセットアップします。
- 24. 「1章 (3.9 アプリケーションのインストール)」を参照し、必要に応じてインストールします。
- 25. 「1章 (3.10 仮想インストールディスクの無効化)」を参照し、必要に応じて設定します。
- 26. 「1章 (5. 障害処理のためのセットアップ)」を参照し、セットアップをします。
- 27. 時刻の設定から、現在時刻およびタイムゾーンが意図したものになっているか確認します。必要に応じて正しい設定に修正してく ださい。また、RBSU の Date and Time において、Time Format が「Local Time」、Time Zone が「Unspecified Time Zone」になっているか確認します。

Time Zone が不正のときは、メンテナンスガイド「1章 (5. トラブルシューティング)」の「5.6 OS 運用時のトラブル」を参照して正しい値に修正してください。

以上で、Manual オプションでのインストールは完了です。



ドライノ	、一の読み込み
お使い ハード: 場合は 注意: 手順の	の PC に必要なメディア ドライバーがありません。メディア ドライバーの種類としては、DVD、USB、 ディスク ドライバーなどがあります。ドライバーの入った CD、DVD、USB フラッシュ ドライブをお持ちの 、挿入してください。 Windows のインストール メディアが DVD ドライブまたは USB ドライブに入っている場合は、この ために取り出してかまいません。
	参照(B) OK キャンセル
オンボー <リムー 表示さ	ド RAID コントローラー用ドライバーをコピーしたリムーバブルメディアを接続後、参照先を指定し[OK]をクリックし バブルメディア>: <b>¥sw_raid1_driver</b> 1ているドライバーリストから以下のドライバーを選択し、[次へ]をクリックします。 mart Array A100i SR Gen10 SW RAID
オンボ- <リム- 表示され HPE S プロダク	ド RAID コントローラー用ドライバーをコピーしたリムーバブルメディアを接続後、参照先を指定し[OK]をクリックし バブルメディア>: <b>¥sw_raid1_driver</b> こているドライバーリストから以下のドライバーを選択し、[次へ]をクリックします。 <b>mart Array A100i SR Gen10 SW RAID</b> トキーを入力し、[次へ]をクリックします。
オンボ- <リム- 表示さ プロダク	ド RAID コントローラー用ドライバーをコピーしたリムーバブルメディアを接続後、参照先を指定し[OK]をクリックレ バブルメディア > : <b>¥sw_raid1_driver</b> Cているドライバーリストから以下のドライバーを選択し、[次へ]をクリックします。 <b>mart Array A100i SR Gen10 SW RAID</b> トキーを入力し、[次へ]をクリックします。



バックアップ DVD-ROM をご使用の場合は、本画面は表示されません。

9. インストールするオペレーティングシステムを選択し、[次へ]をクリックします。



画面の内容は、起動した OS インストールメディアによって異なります。

10. ライセンス条項の内容を確認します。

同意する場合は[同意します]をチェックし、[次へ]をクリックします。



11. インストールの種類を選択します。

ここでは、[カスタム:	Windowsのみをインストールする(詳細設定)]をクリックします。
-------------	------------------------------------

_		
G	Windows セットアップ	1
	インストールの種類を選んでください	
	<b>アップブレード:Windows をインストールし、ファイル、淡空、アプリを引き抜く(い)</b> このオジルプロ、アイル、装定、アブガルWindows に対象地図れます。このオジルズは、ウボートされているパ ージルグd Windows がなこ、やって無料されている場合にのかまたことができます。	
	カスタム・Windows の外をインストーカキタ (日本語語などな) - ジョンパンパンパール、Biog アブルが Windows にくさせないますし、パーネンシュンドライ (小文単生物 - ジョンパンパンパール、Biog アブルが Windows にくさせないます。 - ジョンパンパンパンパンパンパンパンパンパンパンパンパンパンパンパンパンパン - ごともお客のします。	
	ヘルプを表示する(2)	
	Wednes \$パントー目 7()まま	
1 ······2	uningua (51721). (Incluida	

12. 「Windows のインストール場所を選んでください。」画面が表示されます。

手順 6~7 でドライバーを読み込んだ場合、または RAID コントローラーを使っていないときは、手順 15 へ進んでください。

ここで、[ドライバーの読み込み]を選択すると、次の画面が表示されます。

ドライバーの読み込み
ドライブのデバイス ドライバーをインストールするには、ドライバー ファイルが含まれているインストール メディア を入れてから、[OK]をクリックしてください。 注: インストールメディアは、CD、DVD、または USB フラッシュドライブです。
参照(B) OK キャンセル

13. 光ディスクドライブに「Starter Pack」DVDをセット後、参照先を指定し[OK]をクリックします。

● オンボードの RAID コントローラーの場合
Express5800/R120h-1M, R120h-2M
<starter dvd="" pack="">:¥software¥001¥drivers¥sw_raid1_driver</starter>
Express5800/R120h-1E, R120h-2E, T120h
<starter dvd="" pack="">:¥software¥002¥drivers¥sw_raid1_driver</starter>
● RAID コントローラー(N8103-189/190/191/192/193/194/195/201)の場合
Express5800/R120h-1M, R120h-2M
<starter dvd="" pack="">:¥software¥001¥drivers¥dac1_driver</starter>
Express5800/R120h-1E, R120h-2E, T120h
<starter dvd="" pack="">:¥software¥002¥drivers¥dac1_driver</starter>

- 14. 表示されているドライバーリストから以下のドライバーを選択し、[次へ]をクリックします。
  - オンボードの RAID コントローラーの場合
     HPE Smart Array S100i SR Gen10 SW RAID
  - RAID コントローラー(N8103-189/192)を使う場合 HPE Smart Array E208i-a SR Gen10
  - RAID コントローラー(N8103-190/193)を使う場合
     HPE Smart Array P408i-a SR Gen10
  - RAID コントローラー(N8103-191/194)を使う場合
     HPE Smart Array P816i-a SR Gen10
  - RAID コントローラー(N8103-195)を使う場合
     HPE Smart Array E208i-p SR Gen10
  - RAID コントローラー(N8103-201)を使う場合 HPE Smart Array P408i-p SR Gen10

			*
Windows セットアップ     Windows のインストール場所	を選んでください。		
名約	合計サイズ	空き強坂 種類	
ドライブ 0 の書約当てられてい	vない時期 127.0 GB	127.0 GB	
●	(新録(D) (新録(D)	<del>当</del> 新規(E)	-
● ドライバーの読み込み()	113株(2)	•	
		次	-(N)

16. [サイズ]にパーティションのサイズを入力し、[適用]をクリックします。

G	Windows セットアップ Windows のインストール場所を選んで 名前	ください。	空き接坡 種類		
	F5H2 00080 at c5h (CV2C)888	12/3 (38	1270 GB		
		9-17(5) [130046	MB MH(P)	<b>キャンセル(Q)</b> 次へ(N)	
14480-45% <b>2</b> %	indows モインストールしています				

N下でけ [OK]をクリックしてください

i wi לעם לעם	ndows のすべての機 のパーティションがł	能が正常に動作するように、システム ファイル用に追 作成されることがあります。
		OK キャンセル
		新規でパーティションを作成する場合、ハードディスクの先頭に、次の3つのパーティションが作成されます。 - 回復パーティション - EFI システムパーティション(ESP) - Microsoft 予約パーティション(MSR)
手順 16 で	作成したパーティ	ションを選択し、[フォーマット]をクリックします。

	Windows TW FWT						
	Windows のインストール	し場所を選んでください。					
	名約	승왕	サイズ 空き領域 種類				
	F5-17 0 /(-7-2)	'a') 1: @Kg 300	10 MB 273.0 MB 回復				
	F547 0 /K-542	າງປູງ 121 ທີ່	10 MB	а)			
		r <u>a</u> ≿r4 271	1.4 GB 278.4 GB ブライマリ				
	4. 最新の場相に更新(B) ④ ドライバーの読み込み(L)	<mark>★ HUR()</mark>	-マット(E)マット(E)	:~(B)			
1 <sup>14480-07</sup> #	2 Windows &f52k-4600 &#</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><th></th><th>重要</th><th>は、パーティシ 再度作成して データディスク</th><th>ションの作成に失 ください。 フなどを接続して</th><th>敗しています。作いるときは、削除</th><th>テレット F成したパーティシ なるパーティション</th><th>ョンをいったん削除し、 に十分ご注意ください</th><th>バーティシ≘ い。</th></tr><tr><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><th></th><th></th><th>画面に表示さ</th><th>れるパーティション</th><th>≁の数は、ご使用</th><th>の環境によって異な</th><th>めます。</th><th></th></tr><tr><th>次のメッセーシ</th><th>びが表示され、自 べが表示され、自 べいで表示され、自 Windows せいわつび Windows をへんトール や CHAID 日本日本フィームの いたまであったのよう。 いたいで、 なんーーのたいま をたいたール、 たまでのたんーーのたいま をいたいたい。</th><th></th><th>れるパーティション ndows のインラ</th><th>の数は、ご使用</th><th>の環境によって異なます。</th><th>的ます。</th><th></th></tr><tr><td>次のメッセーシ 1 <sup>MRB/UX</sup></td><td>びが表示され、自 Windows セットラップ Windows セットラップ Windows そつえトール で は田田福祉のよす。 タム Windows そつえトールの ないまーのすかってのの またりつううたもつよう、 またりつううたもつよう、</td><td></td><td>れるパーティション ndows のインス</td><td>の数は、ご使用</td><td>の環境によって異なます。</td><td>ゆます。</td><td></td></tr></tbody></table>						

19. 手順9で	選択したオペレーティングシステムに応じて設定します。		
• GUI	使用サーバー		
パラ	マワードを入力し、[完了]をクリックします。		
	設定		
	このコンピューターへのサインインに使用可能なビルトイン Administrator アカウントのパスワードを入力します。		
	ユーザー名(U) Administrator		
	ハスリードの時間に入り100		
	¢	完了(F)	

<Ctrl>+<Alt>+<Delete>キーを押してサインインします。



パスワードを入力し、<Enter>キーを押します。



ダッシュポード	サーバーマネージャーへようこそ
ローカル サーバー すべてのサーバー	1 このローカル サーバーの構成     2 役割と機能の追加     3 管理するサーバーの追加
	4 サーバー クループの作成 (2000年10月) - サーバークループの作成 (2000年10月) - サービークループの許正 1 (2000年10月) - サービークループの許正 1
	■ ローカル サーバー 1 ■ すべてのサーバー 1
	・     管理状態     ・ <td< td=""></td<>
	l l l l l l l l l l l l l l l l l l l

[OK]をクリックします	す。	
Γ	Administrator	
	パ2ワードは変更されました。	
	ОК	
	Windows Server 2012 R2	

Windows Server 2012 R2 が起動します。

-	管理者: C:¥Windows¥system32¥cmd.exe	= <b>-</b> ×
C:¥Users¥Administrator>		
		_
		~



詳細については、次の Web サイトを参照してください。 「Server Core インストールの構成および管理」 <a href="http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/jj574091.aspx">http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/jj574091.aspx</a>

- 20. 「1章 (4.5 Standard Program Package の適用)」を参照し、Standard Program Package を適用します。
- 21. 「1章 (4.6 デバイスドライバーのセットアップ)」を参照し、必要に応じてセットアップします。
- 22. 「1章(4.7 ライセンス認証の手続き)」を参照し、ライセンス認証済みか確認します。
- 23. 「1章 (4.8 Windows Server 2012 R2 NIC チーミング(LBFO)の設定)」を参照し、必要に応じてセットアップします。
- 24. 「1章 (4.9 アプリケーションのインストール)」を参照し、必要に応じてインストールします。
- 25. 「1章(4.10 仮想インストールディスクの無効化)」を参照し、必要に応じて設定します。
- 26. 「1章 (5. 障害処理のためのセットアップ)」を参照し、セットアップをします。
- 27. 時刻の設定から、現在時刻およびタイムゾーンが意図したものになっているか確認します。必要に応じて正しい設定に修正してく ださい。また、RBSU の Date and Time において、Time Format が「Local Time」、Time Zone が「Unspecified Time Zone」になっているか確認します。Time Zone が不正のときは、メンテナンスガイドの「1 章 (5. トラブルシューティン グ)」の「5.6 OS 運用時のトラブル」を参照して正しい値に修正してください。

以上で、Manual オプションでのインストールは完了です。